



安全データシート

1. 化学品及び会社情報

- 1.1. 製品名 : 石原ガゼット粒剤 (カルボスルファン粒剤)
 1.2. 用途 : 殺虫剤
 1.3. 会社情報 : 会社名 石原産業株式会社
 住所 大阪市西区江戸堀 1 丁目 3 番 15 号
 担当部門 三重県四日市市石原町 1 番地
 石原産業株式会社環境・安全衛生統括部
 電話: 059-345-6205 FAX: 059-345-6206
 1.4. 緊急連絡先 : 石原産業株式会社 バイオサイエンス営業本部 生産技術部
 電話: 059-345-6118 FAX: 059-345-6180
 1.5. 作成日 : 2007 年 11 月 8 日
 改訂日 : 2016 年 6 月 1 日⑤

本製品(農薬)の使用に関するお問合せ先 : 石原テレホン相談室 0120-1480-57(フリーダイヤル)

2. 危険有害性の要約

2.1. GHS 分類

物理化学的危険性:

爆発物	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外
エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	区分外
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	区分外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない

健康に対する有害性:

急性毒性(経口)	区分 4
急性毒性(経皮)	区分外
急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん)	分類できない
急性毒性(吸入:ミスト)	分類対象外
皮膚腐食性・刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分外
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	区分 1A
生殖毒性	分類できない

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

区分1(呼吸器系)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

区分2(消化管, 神経系)

区分1(呼吸器系, 腎臓)

吸引性呼吸器有害性

区分2(肺)

環境に対する有害性:

分類できない

水生環境有害性(急性)

区分1

水生環境有害性(長期間)

区分1

オゾン層有害性

分類できない

2. ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:

H302	飲み込むと有害
H350	発がんのおそれ
H370	呼吸器系の障害
H371	消化管または神経系の障害のおそれ
H372	長期間にわたる、または反復ばく露による呼吸器系または腎臓の障害
H373	長期間にわたる、または反復ばく露による肺の障害のおそれ
H400	水生生物に非常に強い毒性
H410	長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き:

【安全対策】

安全対策については、「7. 取扱い及び保管上の注意」、「8. ばく露防止及び保管措置」を参照。

P264	取扱い後は手・顔をよく洗うこと。
P270	この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P280	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
P260	粉じん／蒸気を吸入しないこと。
P273	環境への放出を避けること。

【応急措置】

応急処置については、「4. 応急措置」、「5. 火災時の措置」を参照。

P301 + P312	飲み込んだ場合: 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
P330	口をすすぐこと。
P308 + P313	ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師の診察／手当を受けること。
P308 + P311	ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
P321	特別な処置が必要である。(このラベルの「4. 応急措置」を参照)
P314	気分が悪い時は、医師の診察／手当を受けること。
P391	漏出物を回収すること。

【保管】

保管については、「7. 取扱い及び保管上の注意」を参照。

P405	施錠して保管すること。
------	-------------

【廃棄】

廃棄については、「13. 廃棄上の注意」を参照。

P501 内容物／容器を国／都道府県／市町村等の法・条例に従って適切に廃棄すること。

2.3. その他の危険有害性： 特になし

3. 組成及び成分情報

3.1. 化学物質・混合物の区分： 混合物

3.2. 成分

一般名	カルボスルファン	鉱物質粒等			
		シリカ	酸化アルミ	酸化カルシウム	その他
化学名	2,3-ジヒドロ-2,2-ジメチル-7-ベンゾ[b]フラニル-N-ジブチルアミノチオ-N-メチルカルバメート				
構造式		SiO ₂	Al ₂ O ₃	CaO	—
含有率	3.0%	84.0%	3.7%	1.3%	8.0%
官報公示整理番号 化審法	農薬取締法により規制される物質	(1)-584	(1)-23	(1)-189	全成分登録保証
官報公示整理番号 安衛法	8-(4)-941	公表	公表	公表	全成分登録保証
CAS No.	55285-14-8	7631-86-9	1344-28-1	1305-78-8	ノウハウのため 非公開

4. 応急措置

4.1. 応急措置の記載

- 眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診察／手当を受けること。
- 皮膚に付着した場合： 多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診察／手当を受けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
- 吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合： 水でよく口の中を洗浄すること。気分が悪い時は医師に連絡すること。
- ばく露またはばく露の懸念がある場合： 医師の診察／手当を受けること。ばく露またはばく露の懸念がある場合： 医師に連絡すること。

漏出物を回収すること。

4.2. 最も重要な兆候及び症状： データなし。

4.3. 医師に対する特別な注意事項： カルボスルファンによる中毒の治療法としては、動物実験で硫酸アトロピン製剤の投与が有効であると報告されている。

5. 火災時の措置

5.1. 消火剤： 粉末・炭酸ガス・泡消火器

-
- 5.2. 特有の危険有害性 : 燃焼時、有毒ガス(SO_x, NO_x 等)が発生する。
- 5.3. 消火方法 : 小さな火災の場合は、粉末・炭酸ガス・泡消火器で消火を行い、消火活動は風上より行うこと。
大規模火災の場合は、泡消火剤を用いて空気を遮断すること。
消火作業は、必ず保護具を着用し、風上より行ない、有害ガスの吸入を避けること。
- 5.4. 消火を行う者の保護 : 消火作業は、必ず保護具を着用し、風上より行ない有害ガスの吸入を避ける。
-
6. 漏出時の措置
- 6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 :
作業に際しては適切な保護具を着用し、飛散しない方法で回収する。
直ちに全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外の立入を禁止する。
作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」を参照)を着用し、眼・皮膚への接触や吸入を避ける。
- 6.2. 環境に対する注意事項 : 河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
公共の水路・水源等に流出したときは、警察・水質関係官庁に知らせる。
- 6.3. 回収、中和、封じ込め及び浄化の方法 : 大量の漏洩物の除去や廃棄処理の場合は専門家の指示による。
危険でなければ漏れを止める。
- 6.4. 二次災害の防止策 : 可燃物(木・紙・油等)は漏洩物から隔離する。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
-
7. 取扱い及び保管上の注意
- 7.1. 取扱いの注意 : 医薬用外劇物であるので、毒物及び劇物取締法の定めに従って取り扱うこと。
取扱い後、手・顔等をよく洗うがいをすること。
この製品を使用する時に飲食または喫煙をしないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
粉じん／蒸気／ヒュームを吸入しないこと。
環境への放出を避けること。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。
空気中の濃度をばく露限界以下に保つために、排気用の換気を行うこと。
接触・吸入または飲み込まないこと。
かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
ラベルをよく読む。ラベルの記載内容以外に使用しないこと。
農薬は余らせて廃棄することのないように全てを使い切ること。
使用済み容器及び散布器具等の洗浄液は農薬散布液調製に用いるなど、圃場内で処理すること。
有効期限内に使用すること。
使用済み容器は他の用途には絶対に使用しないこと。
街路・公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。
- 7.2. 保管上の注意 : 医薬用外劇物であるので、毒物及び劇物取締法の定めに従って保管すること。
施錠して保管すること。
-

保管場所は、壁・柱・床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作ること。
 直射日光を避け、低温で換気の良い場所で保管すること。
 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
 容器は直射日光や火気を避け、冷暗所で保管すること。
 食品や飲料と区別して保管する。小児の手の届くところに置かないこと。

8. ばく露及び保護措置

- 8.1. 管理濃度 : 吸入粉塵 3.0/(1.19Q+1) mg/m³ (Q=粉塵中遊離珪酸(%))
- 8.2. 許容濃度 : 日本産業衛生学会 吸入性結晶質シリカ 0.03mg/m³ (2015年版)
 ACGIH TLV-TWA 結晶質シリカ 0.025mg/m³ (2015年版)
- 8.3. ばく露防止・軽減措置
- 設備対策 : この物質を貯蔵ないし取扱う場所には洗眼器と安全シャワーを設置する。管理濃度・許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。
- 保護具 : 呼吸用保護具 防塵マスク・エアライン・空気呼吸器
 保護眼鏡 ゴーグル
 保護手袋 ゴム手袋・ビニール手袋
 保護衣 ボム長靴ビニール合羽
- 衛生対策 : この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

- 9.1. 外 観 等 : 青色細粒
- 9.2. 臭 い : 僅かに特異な臭い
- 9.3. pH(20%水溶液) : 8.8
- 9.4. 融 点 : データなし
- 9.5. 沸 点 : データなし
- 9.6. 引 火 点 : 引火せず
- 9.7. 可 燃 性 : データなし
- 9.8. 自然発火性・水反応性 : データなし
- 9.9. 自己反応性・爆発性 : データなし
- 9.10. 蒸 気 圧 : データなし
- 9.11. 蒸 気 密 度 : データなし
- 9.12. 比 重 : 見掛け比重 1.56g/cm³
- 9.13. 溶 解 度 : データなし
- 9.14. n-オクタノール・水分配係数 : データなし
- 9.15. 分 解 温 度 : データなし
- 9.16. 粘 度 : データなし

10. 安定性及び反応性

- 10.1. 反 応 性 : データなし
- 10.2. 安 定 性 : 法規制に従った保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。
- 10.3. 避けるべき条件 : データなし
- 10.4. 混触危険物質 : データなし
- 10.5. 危険有害な分解性生物 : データなし

11. 有害性情報

- 11.1. 急 性 毒 性 : 経口 LD₅₀ 771mg/kg (ラット♀), 4349mg/kg (ラット♂)

- 経皮 LD₅₀ >2000mg/kg (ラット♂, ♀)
 吸入 データなし
- 11.2. 皮膚刺激性 : 刺激性なし(ウサギ)
 11.3. 眼刺激性 : わずかに刺激性あり(ウサギ)
 11.4. 感 作 性 : 皮膚感受性:皮膚感受性なし(モルモット), カルボスルファンは皮膚感受性あり
 呼吸器感受性:データなし
 11.5. 変 異 原 性 : データなし
 11.6. 発 がん 性 : 区分 1A のシリカを 84%含むことから、区分 1A とした。
 11.7. 生 殖 毒 性 : データなし
 11.8. 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分 1(呼吸器系)のシリカを 84%含み、区分 1(消化管, 神経系)のカルボスルファンを 3.0%含むことから、区分 1:呼吸器系、区分 2:消化管, 神経系とした。
 11.9. 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分 1(呼吸器系, 腎臓)のシリカを 84%含み、区分 1(肺)の酸化アルミを 3.7%含むことから、区分 1:呼吸器系, 腎臓、区分 2:肺とした。
 11.10. 吸引性呼吸器有害性 : データなし

12. 環境影響情報

- 12.1. 生 態 毒 性 : 水生環境有害性(急性)コイ LC₅₀ 705mg/L(96 時間)
 オオミジンコ EC₅₀ 0.00927mg/L(48 時間)
 藻類 ErC₅₀ >1000mg/L(72 時間)
 水生環境有害性(長期間) 区分 1
 (本混合物の成分 95.7%については水生環境有害性が不明)
- 12.2. 残留性・分解性 : データなし
 12.3. 生態蓄積性 : データなし
 12.4. 土壌中の移動性 : データなし
 12.5. オゾン層への有害性 : 本品の成分はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

- 内容物／容器を国／都道府県／市町村等の法・条例に従って適切に廃棄すること。
 使用残農薬及び付着農薬を除去した空容器を廃棄する場合は、次のいずれかの方法で適切に処理すること。
- ・ 農家等使用残農薬及び空容器の排出業者自身で、許可を受けた廃棄物処理業者に処理を委託する。
 - ・ 市町村が回収・処分しているところでは、定められた方法に従う。
 - ・ 使用残農薬及び空容器を地域共同で適正に回収処分する体制が確立しているところでは、当該システムにより処分する。
- 13.1 内容物の廃棄 : 焼却時、有害ガス(SO_x, NO_x等)が発生するので、アルカリ吸収設備の備わった場所で法・条例に従って安全に処理する。
 13.2 容器の廃棄 : 洗浄水等の排出は、環境に影響を与えないよう適切に処理してから排出すること。空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後に適切に処理すること。

14. 輸送上の注意

- 14.1. 国際規制
- 国連番号 : 3077
 国連分類 : 9
 包装等級 : III
 品 名 : Environmentally hazardous substance, solid, n.o.s.(カルボスルファン)
 航空規制情報 : ICAO, IATA の規制に従う
 海上規制情報 : IMDG Code の規制に従う
 海洋汚染物質 : 該当

14.2. 国内規制

- 陸上規制情報 : 毒物及び劇物取締法の規制に従う
- 航空規制情報 : 航空法の規制に従う
- 海上規制情報 : 船舶安全法の規制に従う

14.3. 特別の安全対策

- : 医薬用外劇物であるので、毒物及び劇物取締法の定めに従う。
輸送前に容器の破損・腐食・漏れ等がないことを確認する。
転倒・落下・破損等がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

- 農薬取締法 : 農薬登録番号 第 21046 号
- 毒物及び劇物取締法 : 劇物(政令第 2 条第 46 の 3 号, カルボスルファンを含有する製剤)
- 消防法 : 該当しない
- 労働安全衛生法 : 第 57 条(表示対象物質) シリカ(第 312 号)
酸化アルミニウム(第 189 号)
酸化カルシウム(第 190 号)
第 57 条の 2(通知対象物質) シリカ(第 312 号)
酸化アルミニウム(第 189 号)
酸化カルシウム(第 190 号)
- 化審法 : 該当しない
- 化管法 : 第 1 種指定化学物質 カルボスルファン(第 206 号) 3.0% (代表分析値)
第 2 種指定化学物質 該当しない

16. その他の情報

石原の農薬(石原産業株式会社)

日産化学工業株式会社作成「ガゼット粒剤」安全データシート(SDS)を参照。

本製品(農薬)の使用に関するお問合せ

石原テレホン相談室

0120-1480-57(フリーダイヤル)

※石原バイオサイエンス(株)の全国の支店のうち、農家の皆様の最寄りの事業地にかかるようになっています。

公益財団法人 日本中毒情報センター (事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る)

- | | | |
|-------------------|-------|--------------------------|
| 中毒110番 一般市民専用電話 | (大 阪) | 072-727-2499(情報料無料) |
| | | 365 日 24 時間対応 |
| | (つくば) | 029-852-9999(情報料無料) |
| | | 365 日 9~21 時対応 |
| 中毒110番 医療機関専用有料電話 | (大 阪) | 072-726-9923(1 件 2000 円) |
| | | 365 日 24 時間対応 |
| | (つくば) | 029-851-9999(1 件 2000 円) |
| | | 365 日 9~21 時対応 |

医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合も、情報料1件につき 2000 円を徴収します。

この安全データシート(SDS)は、JIS Z7253に基づいて作成しています。

記載内容の取扱い

本 SDS の記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特別な取扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

記載内容は情報提供であり、保証されるものではありません。